



志を立て 未来を拓く 心豊かな生徒の育成

三刀屋中学校だより

令和5年2月

TEL 45-2421

租税教室

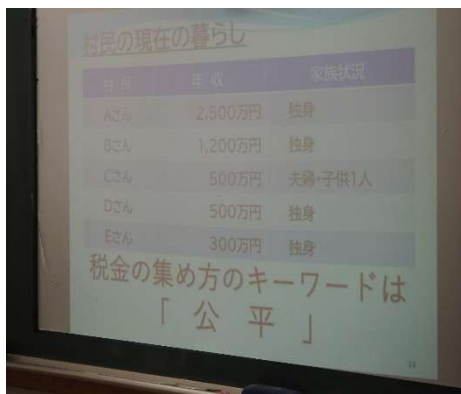
1月31日(火)に3年生を対象に租税教室を行いました。外部からの講師として雲南市役所税務課から和田守さんと若槻さんに来ていただきました。

授業では、日本の国家予算の6割は税収入で約4割近くは国債であること。税金の種類として国に納める「国税」と地方公共団体に納める「地方税」があること。「地方税」にはさらに県に納める「県税」と市町村に納める「市町村税」に分けられること。その「県税」と「市町村税」には「直接税」と「間接税」の2つがあることを学びました。

また、5人の家族構成や収入が異なる人達から橋を作るために「公平」に税金を集めるためにはどうしたらよいかグループ討論を行ないました。どのグループも根拠を基にいろいろな意見を出し合っていました。この租税教室を通して税の仕組みや今後少子高齢化によって負担がどのように変わっていくのか学びました。



【税金の仕組みを聞く生徒】



【公平な税金の集め方】



【グループワーク】

職業学習

2月1日(水)に1年生は、総合的な学習の時間に～「働く意義」を考えよう～として、一般社団法人 umi の代表理事 山下実里さんに講師として来ていただきお話をいただきました。山下さんは7年前に「地域おこし隊」として奈良県から雲南市に来て、そのまま雲南市で起業されました。山下さんのように県外から来られた人から見た雲南市の印象や魅力



【真剣に話を聞く1年生】



【グループワーク】

は、ずっと雲南市に住んでいる生徒にとっては新たな見方、考え方でとても新鮮だったのではないのでしょうか。県外の人から雲南市について語ってもらうことで「ふるさと雲南」の魅力発見につながったと思います。

※本校のホームページ随時更新中！ぜひご覧ください！ <http://shimane-school.nt/unnan/mitoya-chu/>

箏の授業



【お互いに教え合う生徒】



【指使いを教わる生徒】

今年度も1月31日(火)～2月3日(金)まで音楽の時間に箏教室を行ないました。外部講師として勝部光子さん、橋本啓山さんにお越しいただいて1年生から3年生まで各学級2時間ずつ楽譜

の読み方や指使いの指導をしていただき、授業の最後には曲の演奏に挑戦しました。1年生は学級の生徒数が多いため学級を半分に分けて指導していただきました。また、授業の始めには箏と尺八の演奏も披露

していただき日本の伝統音楽の良さを実感する4日間でした。

新入生説明会



【新入生説明会の様子】

1月27日(金)に新入生入学説明会を体育館で行ないました。当日は、十数年に一度の寒波の襲来で小学校6年生や保護者の皆様には、大変寒い中での説明会となり申し訳ありませんでした。説明会では、学校の様子や教科の違い、生活のきまりや部活動、諸経費やPTA活動等について説明させていただきました。そして来年度から変わる点について2つ説明させていただきました。

1つ目は、部活動についてです。来年度の中体連の大会から地域スポーツクラブが参加することが可能になり、学校の部活動に所属して参加するのか地域クラブに所属して参加するのか選択をしなければならないこと。また、その地域スポーツクラブが中体連の大会に参加する条件を満たしており、参加申請されていることを確認してほしいこと。

2つ目は、令和7年度の高校入試から自己推薦による入学者選抜制度が導入されることです。

令和6年度までは、『推薦入学者選抜』は中学校長の推薦を必要としています。令和7年度の『総合入学者選抜』になると①中学校長の推薦を必要としないこと。②募集人員は、入学定員の10～40%程度までで各高校が設定できること。③地域外入学制限(松江北高校、松江南高校、松江東高校、出雲高校の普通科)が撤廃されること。

『スポーツ推進指定校入学者選抜』においても中学校長の推薦を廃止し、中学校長や指導者等による活動実績の証明

の提出に変わること。各高校が定める出願資格、提出書類、選抜検査によって可否を判定されることを伝えました。推薦入試を受けたいと思う人は、各学校、学科によって出願資格や提出書類、選抜検査が異なりますので、中学校1年生の段階から計画的に取り組んでいく必要があります。各高校から出される情報に注目しておいてほしいと思います。一般選抜試験はこれまで通り、学科試験や面接試験等が行なわれます。

【校舎内見学をする6年生】

三中ハッピープロジェクト事業所感想

今年度、3年生総合的な学習の時間で行なった「三中ハッピープロジェクト」では、多くの事業所の方にお忙しい中ご協力いただきました。その後のアンケート調査の結果が返ってきましたので一部紹介したいと思います。

1. 「三中ハッピープロジェクト」地域貢献活動を生徒と一緒に取り組まれていかがだったでしょうか。



【地域のゴミ拾い】

○企画をプレゼンで作成し、話し合いながら進めていく中で、生徒さん一人一人が意見を出して役割や内容などを決めていく様子がとても大事だと思いました。中学生さんの少し大人、まだ子どもの部分があって、一生懸命取り組まれる姿と少し無邪気な姿、いろいろな姿に私たち大人も刺激をもらえました。こうやって一緒に活動することで地域の中でお互いを身近に感じ地元への思いもふくらんでいくと思いました。

○生徒さんも当方も初めての取組でしたが、目的に向って同じ認識を持って取り組めたと思います。当方が思っていた以上に生徒さんの方で、アイデアを出して準備を進めていたので予想した以上の成果となりました。ただ、途中まではきちんと伝わっているのか不安なところがあったので、短時間でも確認できる時間があれば良いと思いました。

○最初の打ち合わせでは、色々とアイデアがあり、形が見えていかない中での不安感がありましたが、何度か打ち合わせをしていくうちに徐々に良いプログラムになっていくように感じました。本番当日では、打ち合わせにない動きなどがありましたが、生徒さんたちが上手く対応されており、とても頼りになりました。企画から運営まで生徒さんたちと共に取り組むことができ、こちらとしてもいい経験となりました。



【絵手紙】

2. 「三中ハッピープロジェクト」の取組についてどう思われましたか。

○生徒さんが地域に関わっていく時間が持てて良かったと思います。自ら気付いて取り組んで行くには、まだ時間が必要ですが、地域からの要望に応じていく形でも地域の中に入っていきかけとなったと思います。地域住民としても、学校との関わり、協力できて良かったです。

○こういった取組がなければ、中学生の生徒さん達との新鮮なアイデアや意見など聞く機会がないので、ぜひこれからも取り組んでいただけると幸いです。

○キャリア教育研究会のためだけの取組で終わらないとよいと思う。生徒の負担が大きいと思うし、中学生に求めるモノが大きすぎるように感じた。

○地域貢献活動という様々な課題があるテーマで大人だけでは気付けない所があると思うのでとても良かったと思います。今後も続けていってほしいです。

調理実習

2月7日(火)、8日(水)に1年生の調理実習を行ないました。1年生は各学級36名と生徒数も多く、不慣れな刃物、ガスを使うことから地域の調理実習サポーターとして7日に松前さん、武島さん、秦さん、神門さん、8日には松前さん、秦さん、陶山さん、妹尾さんに来ていただき調理の補助をしていただきました。第1回目の調理実習の献立は「肉じゃが」、これまで弁当の日のお弁当づくりで、フライパンで炒めたり、揚げたりする料理は作ったことはあると思いますが、煮物になると火加減や水加減、野菜の切り方やジャガイモの芽の取り方、材料を入れる順番、味付けなど格段に難しかったと思います。横で生徒が調理をしているところを見ていました。最初は指を切るのではないかとハラハラしていましたが、サポーターの方が丁寧に教えてくださるので生徒達も上手く調理することができました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。第2回目は、3月に行ない「鮭のムニエル、コーンクリームスープ」を作る予定です。



【芽の取り方を教わる生徒】



【肉の切り方を教わる生徒】

合格祈願米

1月26日(木)に島根農業協同組合雲南地区本部から三刀屋中学校3年生56名に向けて合格祈願米が贈られました。この合格祈願米は、雲南市内で採れたお米を三刀屋天満宮にて祈祷していただいたものです。3年生を代表して武繁羅生さん、黒田美月さんが受け取り御礼の言葉を述べました。合格祈願米を食べて合格、学業成就を目指して頑張してほしいと思います。



【合格祈願米の贈呈】

中国アンサンブルコンテスト

2月4日(土)に出雲市民会館で行なわれた第46回全日本アンサンブルコンテスト中国大会に、本校の吹奏楽部が島根県代表として出場しました。本校は管打八重奏「マカーム・ダンス～8人のフレキシブルアンサンブルのために」を、全員の気持ちを一つにして素晴らしい演奏を披露しました。

結果は銅賞でしたが、中国大会の舞台に立つ経験ができたことは大きな財産となり、今後演奏会、コンクールに向けてよい刺激になったと思います。保護者の皆様、地域の皆様、応援ありがとうございました。



【演奏後のリラックスした笑顔】